



学生起業家コース（起業前）

応募〆切：

2026年5月20日（水）23:59

INDEX

- 01 | コース概要
- 02 | プログラム構成
- 03 | スケジュール
- 04 | 対象者・応募要件
- 05 | 費用負担
- 06 | 選考プロセス・基準
- 07 | 応募方法
- 08 | 注意・免責事項
- 09 | 問合せ先

01 OUTLINE | コース概要



目的

シリコンバレーで起業家精神について学び、実際に「デザイン思考」スキルを習得しながらビジネスモデルをブラッシュアップする

1	起業家精神の本質を理解する。
2	シリコンバレーのネットワークを獲得する。
3	市場の実際のニーズに合った顧客中心の製品やサービスを開発できる「デザイン思考」スキルを開発する。

派遣先

アメリカ シリコンバレー

募集対象

対象者	2026年7月1日時点で原則18歳以上の学生（高専・学士・修士・博士課程）
ステージ	プレシード（起業前） ※その他を参照
レベル	Explorer
分野	特になし
その他	プロトタイプまたはビジネスモデルが明確であること



1 国内プログラム



事前の国内レクチャー (30名程度)

ジェトロ本部（東京）にて合計6時間程度の講義とワークショップに参加し、シリコンバレーの歴史や文化、米国企業のオペレーションの特徴などについて学ぶ。

※日程は予定で、変更の可能性があります

※渡航プログラムは、国内プログラムでの参加姿勢等に基づく二次審査によって参加の是非が判断されます。

※原則オンライン参加はできません。

※全日程、使用言語は英語となります

2 渡航プログラム



講義、演習、デザイン思考ワーク ショップ（20名程度）

Palo Alto周辺のホテルに宿泊し、現地で講義や演習、デザイン思考ワークショップなどを受講。メンターの指導を元にピッチをブラッシュアップし、発表する。

3 フォローアップ



メンタリング (20名程度)

渡航プログラム参加後、1 on 1での成果フォローアップ、メンタリングに参加。

1 国内プログラム | 事前の国内レクチャー ※詳細は随時更新

東京にて合計6時間程度の講義とワークショップを提供する。講義ではシリコンバレーの歴史や文化、米国企業のオペレーションの特徴などについて学ぶ。**本プログラムでの参加姿勢を二次審査の対象とし、渡航プログラムへの参加可否を判断いたします。**

定員 30名程度* ※原則オンライン参加はできません

日程 6月5日（金）～ 6月7日（日）

概要

- イントロダクション、プログラムの設計に関する説明
- デザイン思考に基づいたワークショップ
- 講義例
 - シリコンバレーの歴史、日本とシリコンバレーの文化の違い
 - 米国企業のオペレーションの違い

※ 使用言語：英語



2 渡航プログラム | 講義、演習、ピッチ、デザイン思考ワークショップ

ピッチ、デザイン思考ワークショップ等の講義・演習、グループ学習、グループメンタリング、1対1のメンタリングまで様々な形式のプログラムを提供する。渡航プログラム中はPalo Alto周辺のホテルに宿泊予定。

定員 20名程度 (二次審査で通過した場合のみ)

日程 8月24日(月)～9月11日(金) ※8月23日 日本発、9月13日 日本到着予定

概要

- 現地著名アクセラレーターによる講義やグループワーク
—シリコンバレー流のマインドセットや米国や日本のマーケットの違いを理解促進、
ビジネスモデルやピッチのブラッシュアップを支援します
- スタンフォード大学d.schoolによるデザイン思考ワークショップ
- シリコンバレーのエコシステムのキーパーソンとのネットワーキング
- プログラム全体の学びを評価する“capstone”プロジェクト

※ 使用言語：英語



3 フォローアップ | メンタリング（オンライン）

渡航プログラム参加後の各参加者の進捗状況に応じて、メンターによるフォローアップを引き続き実施。

定員 20名程度

日程 渡航後、2026年11月以降を予定

概要

- プログラム参加後の成果フォローアップ、メンタリングをオンラインで実施する予定



US Market Access Center (USMAC)

URL : <https://usmarketaccess.com/>

支援機関情報

シリコンバレーを拠点とするアクセラレーターであり、外国企業のシリコンバレー進出、世界市場でのスケールアップを専門に手掛ける。

これまで約2,300のスタートアップがUSMACのプログラムに参加し、その卒業生350名で総額50億ドルもの資金調達を達成している。

150人以上のメンターを抱え、渡航前からリモートメンタリングを行い、企業訪問アレンジを行うのが特徴。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Chris Burry
USMAC | Co-CEO
メインインストラクター

USMACの共同設立者であり、UC Berkeley SCET*でも活動を行っている。
これまで9社の設立に関与、3社をエグジット (最大12億ドル規模)させたリアルアントレプレナーであり、USMACなどを通じて過去10年間、40カ国以上の2,500人以上のスタートアップ創業者の支援を行ってきた。
USMACを設立する前は、アクセンチュアとマイクロソフトの合併会社であるAvanadeの設立にも携わった。現在、AvanadeはAccentureの完全子会社となっており、従業員数は4万人、年間売上高は40億ドルを超えている。
現在世界中のアントレプレナーシップに関する会議やイベントで講演を実施している。

* UC Berkeley SCET: UC Berkeley Sutardja Center for Entrepreneurship and Technology



Alfredo Coppola
USMAC | Co-CEO
メンター・コーチ

ITセクターで25年以上の事業開発と経営コンサルティングの経験を持ち、各国の技術エコシステム強化を支援してきた。600社以上のアーリーステージのテクノロジー企業にアドバイスを行い、Adobe、Microsoft、Nortel Networks、Deloitte、PwCなどの大手多国籍企業と連携してきた。2011年以来、シリコンバレーから1,600以上のスタートアップをグローバル市場へ参入させるための支援に関与し、数多くの契約やPoC、資金調達を成功させてきた。
また、サンフランシスコ・バイエリアを拠点とするエンジェル投資家組織Marin-Sonoma Impact Venturesの創設役員であり、世界中の女性が率いる企業の成長を支援するプログラムProspera Womenの共同創設者でもある。



Hasso Plattner Institute of Design at Stanford (d.school)

URL : <https://dschool.stanford.edu/>

支援機関情報

顧客起点の問題解決プロセスをデザインする「デザイン思考」のカリキュラムを提供している。バンガロールを拠点とする非営利団体のNoora Healthをはじめ、多くの卒業生がd.schoolのツールやリソースを活用して新しい事業を立ち上げている。



US-Asia Technology Management Center

URL : <https://asia.stanford.edu/>

支援機関情報

1992年に設立されたスタンフォードにある教育研究センターで、これまで急速に進化するアジアのイノベーションやテクノロジーに関する最新の知識と分析能力を学生に提供してきた。

02 PROGRAM STRUCTURE | プログラム構成 – メンターの紹介



Ken Singer
インストラクター

シリアルアントレプレナーであり、数多くのスタートアップへ投資およびアドバイザー活動を行っている。2012年よりUC Berkeley SCETのマネージングディレクター、2019年より同センターのChief Learning Officerを務めており、グローバルなテクノロジー起業家を育成するためのアプローチであるBerkeley Method of Entrepreneurshipの共同開発者でもある。

現在は政府や大学と協力してアントレプレナーシップ教育の促進、企業の製品とイノベーションのマネジメントに関するコンサルティング活動を行っている。

エンタープライズソフトウェア、EdTech、サイバーセキュリティ、モバイルテクノロジー、デジタルトランスフォーメーションなどを専門とする。

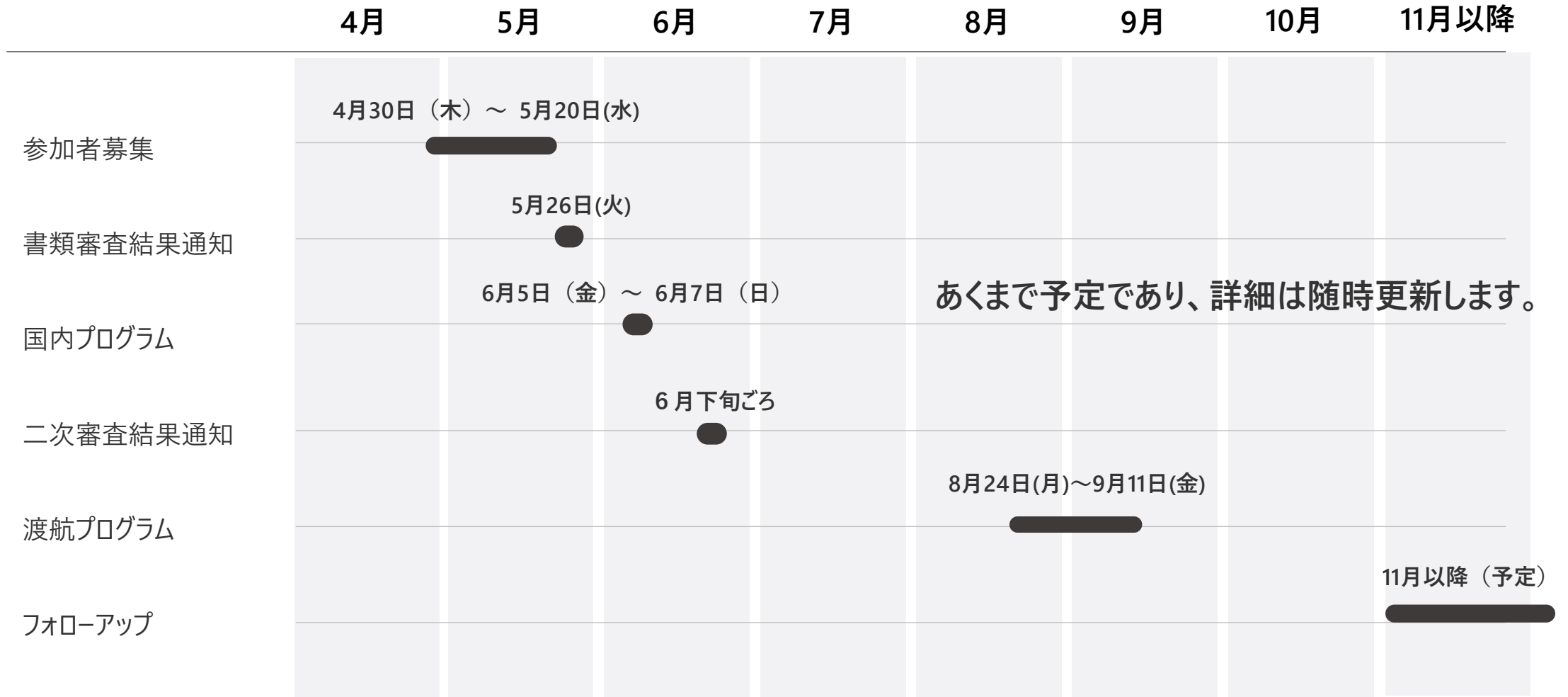


Ariel Raz
d.School
インストラクター

d.schoolにて、Head of Learning Collaborationsとしてデザイン思考をK12教育（初等・中等教育）へ統合する第一人者として活躍。サンフランシスコでの起業直前に「ティーチ・フォー・アメリカ」へ参画し、ルイジアナ州の公立中学校で数学教師として勤務。教室での実践を通じた遊びと学びの融合を追求し、その後シカゴでのチャータースクール設立に尽力し、教育現場におけるICTツールの活用を牽引。

スタンフォード大学大学院にて「学習・デザイン・テクノロジー（LDT）」を専攻。在学中には自閉症スペクトラム児の保護者を支援するストーリー構築ツール「iCanGo」を開発。

03 SCHEDULE | スケジュール



定員

国内プログラム：30名程度

渡航プログラム：20名程度

対象

対象者	2026年7月1日時点で原則18歳以上の学生（高専・学士・修士・博士課程）
ステージ	プレシード（起業前） ※その他を参照
レベル	Explorer
分野	特になし
その他	プロトタイプまたはビジネスモデルが明確であること

応募要件

プログラム参加者*は以下の全ての条件を満たすこと

1. 起業前の学生であること
2. 本プログラム全日程に参加可能であること
3. 英語での講義の受講、ピッチイベント参加が可能な語学力を有していること
4. オンラインで参加するための設備、環境を準備できること
5. 参加後のアンケート等に協力いただけること*

*本プログラムは経済産業省・ジエトロが連携して行うプロジェクトであり随時、フォローアップアンケートや成長過程の調査を実施します。

参加者による費用負担

- ・海外での移動、飲食費用、通信費、VISA代、保険費などのその他発生する費用
- ・右の「主催者JETROによる費用負担」以外のすべての費用

主催者JETROによる費用負担（現物支給）

- ・ プログラム受講料
- ・ 国内プログラム及びフォローアップ時の国内交通費・宿泊費
- ・ 海外航空券
- ・ 海外滞在時の宿泊費

※国内交通費・宿泊費は参加者全員に支給するものではありません。国内居住者で、成田/羽田空港までの航空券または新幹線が必要な地域にお住まいの方のみ対象とし、JETROが費用負担、手配いたします。対象者には現住所を確認し、別途ご連絡いたします。)

※ジェットロ指定のホテル・航空便をキャンセルされた場合は、キャンセル料・変更料が発生する可能性がありますのでご注意ください

※宿泊費・航空券についてキャンセル料、もしくは変更料がジェットロに発生する場合は参加者にご負担いただく場合がございます



選考基準

- 招聘するメンターならびにJETROがサポート可能であること
- プログラム参加への志望理由が明確で熱量があること
- 将来的に起業することに対し関心があること
- プログラムを通して成長が見込まれる人材であること
- プロトタイプまたはビジネスモデルが明確な課題認識に基づいており、技術面・事業面において優位性があること
- 英語での講義を受講するのに必要な英語力を有していること
- JETROが実施するその他のプログラムの参加状況、申込内容、海外展開の目的や状態を踏まえて、参加意義が認められること ※次ページに詳細

※1 二次審査は国内プログラムでの参加姿勢を評価いたします。

選考基準としての、適切なコース選定

参加企業が最大限の成果を得られるよう、適切なコース選定とプログラム参加の目的性を重視しています。スタートアップが複数のアクセラレーションプログラムを目的なく連続的に受講することは、必ずしも事業のスケールにつながらず、貴重な時間・リソースの分散を招いた事例があります。スタートアップにとって時間は最も重要なリソースであることを踏まえ、以下の点をご理解のうえ応募をご検討ください。

■ プログラム選定にあたっての基本的な考え方

自社が現在達成したい目的から逆算したプログラム選定を強く推奨します。

海外展開に向けたニーズは企業によって異なり、

- 海外でのPMFの検証
- Go To Market Strategy の精緻化
- 初期の海外トラクション獲得
- 海外ネットワークの構築

など、目的に応じて最適なプログラムは大きく異なります。

■ 応募前の相談推奨

JETRO Startupチームは、皆さまの事業ステージや目指したい方向性に応じて、最適なプログラム選択をサポートします。

- 今年度すでに他のアクセラレーションプログラムに採択されている方は、応募前にJETRO Startupメンバー（スタートアップ課）へご相談ください。
- まだ採択されていない方でも、どのコースが適切か迷う場合には遠慮なくご相談ください。

応募フォーム

2026年5月20日(水) 23:59 (JST) 締切

-
- 応募内容について、審査を行い、採択可否の通知を行います
 - 書類審査とあわせて動画審査（オンライン）も実施いたします
 - 審査結果に対する問い合わせには一切お答えできませんので、予めご了承ください
 - 上記応募フォーム内でピッチデッキ資料（英語）及び英語でのピッチ動画提出が必要です（形式・方法等は次ページ以降参照）

ピッチ資料及び動画作成・提出にあたっての留意点

以下の留意点が守られていない場合は、審査対象外となる可能性がありますので、ご注意ください。

ピッチ資料作成時の留意点

- フォーマット例：
 - Problem
 - Solution
 - Market Size
 - Traction (まだない場合は顧客インタビュー等で代替可)
 - Business Model
 - Team (Why you?)
 - Ask (プログラム参加目的とマイルストーン等)
- 分量：スライド 10枚程度
- 言語：英語
- 提出方法：[ピッチ資料回収フォーム](#)にアップロード
- 提出期限：**2026年5月20日(水) 23:59 (JST)**

ピッチ動画作成時の留意点

- 動画内容：ピッチ資料を基にしたピッチ
- 分量：3分程度
- 言語：英語
- 動画形式：自身でピッチの様子をzoom等で録画→リンク化
- 提出方法：[応募フォーム](#)上の指定提出場所にリンクを貼付
- 提出期限：**2026年5月20日(水) 23:59 (JST)**

※申し込みフォームでピッチ資料または動画を提出できない場合は以下送付先に提出してください。メールの件名は「学生起業家コース（起業前）_ピッチ資料（動画）提出_名前」とし、本文にもご自身の名前をご記載ください。

【送付先】

ジェトロ スタートアップ課 担当：中野、石黒
j-starx@jetro.go.jp

英語ピッチ資料及びピッチデックの提出方法・プロセス

Step 1

当プログラムへの参加登録

前頁の応募フォームからお申し込みください

Step 2

英語ピッチ資料格納

作成した英語ピッチ資料を指定の格納先（※右側記載の通り）へ提出してください

Step 3

英語ピッチ動画格納

作成した英語ピッチ動画を指定の格納先（※右側記載の通り）へ提出してください

■英語ピッチ資料の格納は[ピッチ資料回収フォーム](#)から

■英語ピッチ動画の格納は[応募フォーム](#)から

※ 上記フォームでの提出が難しい方は、j-starx@jetro.go.jp宛にメールにてご提出ください

※ メールの件名は「学生起業家コース（起業前）_ピッチ資料（動画）提出_名前」とし、本文にプログラム名、申込者氏名を記載の上ご提出ください

【送付先】

ジェトロ スタートアップ課 担当：中野、石黒
j-starx@jetro.go.jp

※ ピッチ資料はPDFまたはPPT形式で提出してください

1. 本プログラムの参加費用支援は、1名までとなります（ご自身による負担での同行については問題ありません）。
2. 必要に応じて、現地交渉先との面談などにも、メンターおよびジェトロ職員が同行する可能性があります。また、帰国後の成果把握、進捗確認への協力をお願いします。
3. 本プログラムの選考通過後は、ジェトロ事業の紹介、成果報告のための外部公開をする場合がありますので、ご了承ください。（公開内容は事前に確認を行います）
4. 原則、他のJ-StarXプログラムにて渡航プログラムに参加していないこと。
重複の可否はジェトロにて判断します。

免責事項

[J-StarX 利用規約・免責事項](#)をよくお読みの上、応募をお願いします

キャンセル規定

如何なる理由においても、渡航日程決定後のキャンセルは認められません

宿泊費についてキャンセル料、もしくは変更料がジェトロに発生する場合はご自身にて負担いただきます。（ただし、学生プログラムについては、キャンセル料をカバーする旅行保険をジェトロで付保する予定です）

キャンセル料発生日：正確な期限は後日参加者にアナウンスします

09 CONTACT | お問い合わせ



コース名 学生起業家コース（起業前）

実施機関 ジェトロ イノベーション部／スタートアップ課

担当者 中野、石黒

お問い合わせ [問い合わせフォームリンク](#)

